

科目名	精神発達			担当者		
英文名	Developmental Psychology					
単位数	2	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科
履修年次	2		専門基礎・選択			
授業形態	講義	科目ナンバー	SBE203		卒業認定方針との関連	⑧
【到達目標】						
本講義では、ヒトが生まれてから死ぬまでの生涯に渡る心理的発達について概観し、各時期に生じる様々な問題についての理解を深めることを目的とする。これらの知見に基づいて、乳幼児や児童、生徒に対するのぞましい教育の在り方について考察することをねらいとする。						
【ルーブリック（学修の到達レベル）】						
学修内容		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達レベル
人の発達に関する理解		人の発達に関する理論や考え方を理解し、具体例を交えながら説明できる		人の発達に関する理論や考え方を理解し、説明できる		人の発達に関する理論や考え方を理解が不十分で、説明することが難しい
乳児期～老年期に関する発達特徴の理解		乳児期～老年期に関する発達特徴を理解し、具体例を交えながら説明できる		乳児期～老年期に関する発達特徴を理解し、説明できる		乳児期～老年期に関する発達特徴の理解が不十分で、説明することが難しい
知見に基づいた教育のあり方の理解		知見に基づいた教育のあり方を理解し、具体例を交えながら説明できる		知見に基づいた教育のあり方を理解し、説明できる		知見に基づいた教育のあり方の理解が不十分で、説明することが難しい
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】						
第1回 発達とは (1) 【 到達目標 】 (1) 発達の定義、子ども観・発達観やその歴史、発達の原理について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)				第9回 社会性の発達 (1) 【 到達目標 】 (1) 社会性の発達について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)		
第2回 発達とは (2) 【 到達目標 】 (1) 発達を理解する方法について知る。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)				第10回 社会性の発達 (2) 【 到達目標 】 (1) 社会性の広がりについて理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)		
第3回 子どもを理解する方法 (1) 【 到達目標 】 (1) 子どもを理解する観察・記録・検査の方法を理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)				第11回 青年期の自己の発達と社会化 【 到達目標 】 (1) 青年期の身体の変化と心の変化の関係について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)		
第4回 子どもを理解する方法 (2) 【 到達目標 】 (1) 子どもを理解する観察・記録・検査の方法の長所と短所を理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)				第12回 中年期の発達 【 到達目標 】 (1) 中年期の発達について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)		
第5回 運動発達 【 到達目標 】 (1) 身体と運動の発達について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)				第13回 老年期の発達 【 到達目標 】 (1) 老年期の発達について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)		
第6回 認知発達 【 到達目標 】 (1) 認知発達段階について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)				第14回 インクルーシブ教育の考え方と新しい障害観 【 到達目標 】 (1) インクルーシブ教育の考え方を理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)		
第7回 言語発達 【 到達目標 】 (1) 言語獲得の基礎やそのメカニズムについて理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)				第15回 集団の捉え方 【 到達目標 】 (1) 集団心理について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)		
第8回 感情の発達 【 到達目標 】 (1) 感情の発達について理解する。 【授業時間外学習】 事後学習として、講義で扱った内容の復習をする。(4.0hr)						
【学習上の留意点】						
・授業前に講義資料をポータルで配信するので、受講者は講義資料に目を通しておくこと。 ・講義では、授業のターゲットとなる年齢や事象をイメージするために、映像教材を活用する。事例をもとにディスカッションしながら、対象者や問題への理解を深める。質問は適宜受けつけ、次回の授業冒頭に全員で共有する。 ・毎授業後、受講者は授業内容に関する作問課題の作成及び解答を行い、Phollyで提出すること。また、授業で解説された内容をあらためてノートに整理しておくこと。						
【教科書・参考書など】						
参考書 「エピソードでつかむ生涯発達心理学」岡本裕子・深瀬裕子（編）ミネルヴァ書房 「あなたとわたしの心理学」羽野ゆづ子・竹原卓真（編）ナカニシヤ出版						
【成績評価方法】						
毎授業後の課題提出 35%、試験 65%						